

売り場の葉物が不足しています！

毎年のことなのですがさくらファームでは、紫陽花の時期から曼珠沙華の咲き始める頃まで、葉物の出荷量が極端に少なくなります。

特に小松菜では表のように6月～8月まで出荷があまりなく、今年の7月8月は全くと言っていいほど出荷がありませんでした。

表1 今年6月の小松菜の販売数

今年度	生産者販売数		仕入れ品販売数
2020年	小松菜	サラダ小松菜	仕入れ小松菜
6月	167	807	1097

表2 昨年7月～9月の小松菜の販売数

昨年度	生産者販売数		仕入れ品販売数
2019年	小松菜	サラダ小松菜	仕入れ小松菜
7月	0	634	454
8月	18	892	529
9月	1135	869	355
10月	1042	851	253

葉物は鮮度が品物に良く表れる生産物で、直売所の人気品目とされています、実際に過去1年間の販売履歴を見返しても、営業日のうち、2019年の10月12日の台風で休業した日を除き、小松菜が1袋も売れなかったという日はありませんでした。

小松菜は夏播きであれば播種後25日～30日程度で収穫できますので、興味のある方はチャレンジしてみてください。

～コマツナ栽培のポイント～

・防虫ネットを活用する！

ハイマダラ/メイガ(シンクイムシ)・ヨトウムシ・アオムシ・コナガ・キスジ/ミハムシ・カブラハバチなど多くの害虫が付く作物です。防虫網を活用して少ない防除で被害を防ぎましょう。、網は播種後すぐにかけてください、虫がいる状態でかけると、虫がごのような状態になり、意味がありません！

・キスジ/ミハムシに注意！

生育初期に細かい針で刺したような穴が開くことがあります、これはキスジ/ミハムシによる被害です。フォース粒剤などの播種時の防除でないと防ぐのは難しいので、粒剤を使用しましょう。

・品種を選ぶ！

夏季の栽培は徒長しやすく、収穫遅れになりがちです、なつき(トーホク)などのじっくり育つ夏季用品種を選ぶとよいでしょう。

～荷造りについて～

小松菜は傷むのが早い品目です。品物を良く見せるために荷造りに気を使いましょう！

・葉がボードン袋からはみ出ないようにする

袋から葉が飛び出た状態で出荷すると、飛び出ている部分の乾燥が早く見た目が大変悪くなります。袋は大きめのものを使い収まりきるようにし、口を折り返してテープで止めるなどしましょう。